

7年産米生育状況(全米販調べ)



【生育】 福井は、茎数回復、高温・乾燥・カメに警戒

7月2日現在の生育は茎数不足がおおむね回復し、草丈も伸長した。県では高温・乾燥とカメへの警戒を呼び掛けている。

○ 福井の7年産水稻生育（7月2日時点）

	コシヒカリ (5/16移植)	ハナエチゼン (4/29移植)	あきさかり (5/16移植)
草丈	やや長い (+ 9%)	長い (+ 12%)	長い (+ 15%)
茎数	並 (▲ 2%)	やや少ない (▲ 8%)	多い (+ 12%)
葉数	並 (± 0.0)	やや早い (+ 0.5)	遅い (▲ 1.3)

注）下段カッコ内は平年値との比較。

【生育】 青森は、茎数1割減

6月30日現在の生育（黒石市）は、茎数1割減で7月を迎えようという状況。3品種のいずれも標準偏差の下限スレスレだ。

○ 青森の7年産水稻生育（6月30日時点）

	青天の霹靂	はれわたり	まっしぐら
草丈	長い (+ 17%)	長い (+ 13%)	長い (+ 18%)
茎数	少ない (▲ 11%)	少ない (▲ 11%)	少ない (▲ 10%)
葉数	やや早い (+ 0.4)	並 (+ 0.2)	やや早い (+ 0.6)

「RiceJ米価」：全米販オリジナルの国内産主食用うち米価格の指標。農林水産省が毎月公表している相対取引価格をベースに、米穀機構DIを組み合わせで算出。

クリスタルライス：米の取引仲介市場を運営。全国米穀販売事業共済協同組合（全米販）の100％子会社。

【生育】 北海道は、順調に幼穂形成期へ

7月1日現在の生育は高温・多照から平年より早く幼穂形成期に突入しており、茎数も充分確保できている模様だ。

○ 北海道の7年産水稻生育（7月1日時点）

	全体	空知	石狩	後志	胆振
生育遅速	3日早	2日早	3日早	1日早	3日早
草丈	長い (+ 5.3)	やや長 (+ 4.5)	長い (+ 6.5)	やや長 (+ 4.1)	長い (+ 5.9)
茎数	やや多 (+ 41)	平年並 (+ 15)	多い (+ 124)	平年並 (+ 18)	やや多 (+ 32)
葉数	やや多 (+ 0.5)	平年並 (+ 0.4)	多い (+ 0.9)	平年並 (+ 0.3)	やや多 (+ 0.6)

	日高	渡島	檜山	上川	オホーツク
生育遅速	3日早	3日早	3日早	4日早	2日早
草丈	長い (+ 7.6)	長い (+ 4.9)	長い (+ 5.4)	長い (+ 6.5)	やや長 (+ 6%)
茎数	多い (+ 77)	やや多 (+ 54)	平年並 (+ 10)	多い (+ 74)	多い (+ 13%)
葉数	やや多 (+ 0.6)	やや多 (+ 0.5)	平年並 (+ 0.4)	やや多 (+ 0.6)	平年並 (+ 3%)

注）下段カッコ内は平年値との比較。

令和6年産の米価（円／60kg）

■RiceJ米価（6月下旬）

25,482円

■クリスタルライス取引価格（関東コシヒカリ6月下旬）

33,200円

■農水省「全銘柄平均相対契約価格」（5月末現在）

27,649円

■堂島取引所「現物コメ指数（主食用平均米価）」（6月）

28,453円